## 利益の処分に関する書類（案）

（単位：円）

| 科　　目 | 金 | 額 |
|---|---|---|
| Ⅰ　当期未処分利益 | | 175,862,672 |
| 当期総利益 | 175,862,672 | |
| Ⅱ　利益処分額 | | |
| 積立金 | 502,635 | |
| 国立大学法人法第35条において準用する独立行政法人通則法第44条第３項により文部科学大臣の承認を受けようとする額 | | |
| 大学運営改善積立金 | 175,360,037 | 175,360,037 | 175,862,672 |

## 国立大学法人等業務実施コスト計算書

（平成28年４月１日～平成29年３月31日）

（単位：円）

| | | | |
|---|---|---|---|
| Ⅰ　業務費用 | | | |
| ⑴　損益計算書上の費用 | | | |
| 業務費 | 3,742,688,617 | | |
| 一般管理費 | 166,396,576 | | |
| 財務費用 | 535,143 | | |
| 雑損 | 1,260,405 | | |
| 臨時損失 | 4,095,000 | 3,914,975,741 | |
| ⑵　（控除）自己収入等 | | | |
| 授業料収益 | △ 825,525,827 | | |
| 入学金収益 | △ 123,163,600 | | |
| 検定料収益 | △ 22,200,700 | | |
| 受託事業等収益 | △ 52,682,612 | | |
| 寄附金収益 | △ 31,633,291 | | |
| 資産見返運営費交付金等戻入 | △ 84,404,726 | | |
| 資産見返寄附金戻入 | △ 4,027,530 | | |
| 特許権仮勘定見返授業料戻入 | △ 346,153 | | |
| 財務収益 | △ 210,795 | | |
| 雑益 | △ 34,544,230 | | |
| 臨時利益 | △ 4,095,000 | △1,182,834,464 | |
| 業務費用合計 | | | 2,732,141,277 |
| Ⅱ　損益外減価償却相当額 | | | 292,266,308 |
| Ⅲ　引当外賞与増加見積額 | | | 6,388,318 |
| Ⅳ　引当外退職給付増加見積額 | | | 82,571,501 |
| Ⅴ　機会費用 | | | |
| 国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用 | 487,424 | | |
| 政府出資の機会費用 | 14,248,545 | | |
| | | 14,735,969 | |
| Ⅵ　国立大学法人等業務実施コスト | | | 3,128,103,373 |

＜重要な会計方針＞

国立大学法人会計基準（「「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」報告書」（国立大学法人会計基準等検討会議　平成28年２月１日改訂）及び「「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針」（文部科学省、日本公認会計士協会　平成28年４月21日最終改訂））を適用して、財務諸表を作成しております。

１．運営費交付金収益及び授業料収益の計上基準

原則として、期間進行基準を採用しております。

ただし、特別運営費交付金及び特殊要因運営費交付金の一部については文部科学省の指定に従い業務達成基準、又は費用進行基準を採用しております。

２．減価償却の会計処理方法

⑴　有形固定資産

定額法を採用しております。

耐用年数については、法人税法上の耐用年数を基準としておりますが、主な資産の耐用年数は以下のとおりです。

| | |
|---|---|
| 建物 | １～50年 |
| 構築物 | １～60年 |
| 工具器具備品 | １～20年 |
| 車両運搬具 | ３～７年 |

なお、国から承継した固定資産については見積耐用年数により、特定の研究のために受託研究等収入によって取得した固定資産については研究期間により減価償却をしております。

また、特定の償却資産（国立大学法人会計基準第84）の減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として資本剰余金から控除して表示しております。

⑵　無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（５年）に基づいております。

３．賞与引当金及び見積額の計上基準

賞与については、翌期以降の運営費交付金により財源措置がなされるため、賞与引当金は計上しておりません。なお、国立大学法人等業務実施コスト計算書における引当外賞与見積額は、当事業年度末の引当外賞与見積額から前事業年度末の同見積額を控除した額を計上しております。